

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第4回所沢市みどりの審議会
開 催 日 時	平成30年8月31日(金) 10時00分から11時45分 まで
開 催 場 所	市役所5階502会議室
出 席 者 の 氏 名	亀山 章、荻野 豊、城戸 基秀、木村 智子、長谷川 勝、大谷木 康一、 原口 雅人、塚原 高志、水上 哲朗、三ツ木 雅秋、関谷 佳和(以上、 審議委員) 木村 章法、神谷 友美(以上、朝日航洋株式会社)
欠 席 者 の 氏 名	池邊 このみ
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) 所沢市みどりの基本計画改定について (2) その他
会 議 資 料	・ 次第 ・ 資料1 所沢市みどりの基本計画改定スケジュール ・ 資料2 平成30年度第3回所沢市みどりの審議会における主な意見 ・ 資料3 所沢市みどりの基本計画【改定版】-たたき台- ・ 墓地計画地公有地化(新聞記事抜粋)
担 当 部 課 名	環境クリーン部部長 廣川 澄芳 環境クリーン部次長 一井 里映 みどり自然課長 奥村 稔 建設部公園課長 岩崎 幸司 みどり自然課 主査 荒井 直樹 みどり自然課 主任 荻野 敏行 みどり自然課 主任 児玉 治彦 電話 04(2998)9373

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
亀山会長	<p>1 開 会 市役所 5 階 502 会議室にて、みどり自然課 荒井主査の司会で開会。</p> <p>2 議題 議題 1 所沢市みどりの基本計画改定スケジュールについて 資料 1 から資料 3 をもとに、みどり自然課 児玉主任から説明をおこなった。質疑応答については次のとおりであった。</p> <p>審議が少し早めに進んでいるため、当初予定していた 11 月 7 日水曜日の審議会についてはやらなくて済むのではないかということになった。本日の審議内容を受けてパブリックコメントにかけ、その後、1 月 18 日金曜日の審議会は予定通りおこない、ここで取りまとめということになる。それを受けて、2 月初めに市長へ答申を行うことになる。質問等なければこのような形で進めさせてもらう。</p>
亀山会長	<p>次に資料 2 の前回の審議会における主な意見について、いただいた意見に対応して資料を作成した、ということでしょうか。</p>
児玉主任	<p>その通りとなる。本日の資料 3 に意見を反映している。</p>
原口委員	<p>資料 2 に関して、前回、私から 6 番の質問をおこなった。生物多様性の保全について具体的にどう考えているのか聞いたのだが、回答では多様性について触れられていない。もう一度お聞かせいただきたい。</p>
児玉主任	<p>公共事業の性格上、すぐに何か事業を起こすということは難しい。ただ、当市には直近で「所沢市こどもと福祉の未来館」という施設ができた。こちらは屋上緑化や駐車場緑化、それから既存樹の保存をおこなっている。こういった取り組み事例などを紹介しながら、今後も同様に進めていくという所を、市民のみなさまにご理解いただきたい。</p> <p>それに加えて、既存施設への特殊緑化は難しい所もあるが、公共施設緑化ガイドラインに示されているみどりのカーテンに取り組んでいる。学校では生徒さんと一緒に取り組んで公共施設の緑化を頑張っている。生物多様性にもつながるものなので、今後も取り組んでいきたいと思う。</p>

原口委員	<p>ここで一番気にしているのは生物多様性を強く言っているものの、屋上緑化や駐車場緑化は多様性を確保するのが難しい所だ。そこを記載していたので心配した。例えば、これからの公共施設で行う緑化については在来種を使うとしないと、多様性を強調することができないのではないか。</p>
水上委員	<p>三ツ木委員にお聞きしたのだが市内ではホテルの鑑賞会を行っていたり、生息できるように河岸の整備や人工繁殖をおこなっているそうだ。少し前には市内でオオムラサキを飼育する事業についてニュースで聞いた。それから学校の庭でイトトンボなどの水生昆虫が飛びかう環境があるといったことを、山梨にいても所沢の生物や植物に関するニュースとして良く聞く。所沢はみどりに限らず昆虫や自然の面については積極的に取り組んでいると思う。</p>
亀山会長	<p>「生物多様性へ配慮したモデルとなる緑化を推進する」と書いてあることについて、もう少し掘り込んだ方が良いということだ。公共施設緑化ガイドラインの中で生物多様性について書いているので、それに倣って在来種で緑化する、といったことを書きこめば良いのではないか。</p>
原口委員	<p>それで良い。</p>
亀山会長	<p>それでは「公共施設緑化ガイドラインに従って」として書き込んでもらう形をお願いします。</p>
亀山会長	<p>次は資料3について、第4章の「みどり推進施策」の中に目標指標を入れ込んだのでご意見をいただきたい。それから第6章はどのように進行管理をおこなっていくか、ということになる。まずは第4章の目標指標が基本方針IからVにあるが、こちらから意見を願います。</p> <p>その前に4-4ページに「みどりを愛しみ、ともに支えます。」について、表記が「IV」ではなく「V」の間違いではないか。</p>
児玉主任	<p>その通りとなる。申し訳ないが訂正をお願いします。</p>
亀山会長	<p>目標指標について、目標値は出ているが現況値はないのか。現況があって目標があると、どのくらい頑張るのかわかるのだが。</p>
児玉主任	<p>基本計画の実行は平成31年度4月からとなる。現段階において平成30年度の現況値は推定となり、基本計画に記載しづらい。そこで6-4</p>

<p>亀山会長</p>	<p>ページにPDCAサイクルの「点検・評価スケジュール」があるが、毎年の進捗の報告において現況値を記載し把握ができるよう対応したい。</p> <p>平成30年度が終わっておらず現況値が出しづらいのであれば、平成29年度のもので良いのではないかと。平成29年度末の現況値として断って記載すれば問題にならない。</p>
<p>児玉主任</p>	<p>平成29年度までの累積値として把握できるものはそのように対応する。全く新しい指標や累積管理になっていないものは対応が難しい。</p>
<p>亀山会長</p>	<p>承知した。そのように対応する。</p>
<p>城戸委員</p>	<p>現行の目標値については、これまでの審議会で数値目標がわかりづらいとして議論をしてきた。その辺りが反映されているのか。それから、目標値の根拠が示されていないので、増やすといってもどこを増やすのかわからない。そのような中では目標値が良いかどうか、判断できない。</p>
<p>児玉主任</p>	<p>本年度の第2回の審議会で現行の目標値について報告した際に、意見を2点いただいた。まずは地域制緑地について、対象を丘陵地、平地林、水辺地としていたが、全体でどのくらいの進捗なのかわかりづらいというものだったと認識している。そこで基本方針I全体指標については、狭山丘陵、水辺地、平地林の合計値として、全体の進捗を把握するとともに、部分的に進捗の進んでいる箇所、遅れている箇所を把握しながら、目標の進行を管理できるように構成を考えた。また、4-46ページの「講座やイベントへの参加者数」については、これまではイベントの開催回数を目標に行ってきたが、回数よりもどれだけの人が参加できているのか、中身の方が大切でないかという意見に基づき、参加者数で目標を管理するものとして改めた。</p> <p>それから、現行値からの比較が難しいという指摘について、今、口頭で現行値を申し上げたいと、、、</p>
<p>城戸委員</p>	<p>数値はそれとして、それがどこなのかということ。公園の面積だとするとそれがどこなのか、それを含めて知りたい。数字だけを言われてもそれがどうなのか判断できない。</p>
<p>朝日航洋（株） 木村氏</p>	<p>緑地の保全については、前回、保全配慮地区について議論していただいた。その保全配慮地区を対象に地域制緑地の指定がどのくらいか、と</p>

	<p>いう目標になる。それを表の中に示しており、狭山丘陵であれば「狭山丘陵保全配慮地区」として点線以下、下段に示している。水辺地、平地林についても同じように対象地を例示している。第5章の保全配慮地区に対応しており、あわせてご覧いただくとわかるようにできている。</p>
<p>亀山会長</p>	<p>現況はどうなっていて計画はどうしたいのか、ということが見えにくいのが気になる。</p>
<p>城戸委員</p>	<p>基本計画に全て出す必要はないが、審議する場にはそういったものがないと数値がどうなのかわかりづらい。</p>
<p>亀山会長</p>	<p>積み上げてきたことはわかる。だが、どう積み上げてきたのかがわからないままに、最後の数字だけが出てくるのがわかりにくくしている。</p>
<p>関谷委員</p>	<p>今回の目標指標について努力をしているのはわかるが、現状値が無く目標値だけが示されるのはわかりにくい。現行のみどりの基本計画でもそうだが、マニアックに見なければ1つずつ積み上げられていること、狭山丘陵が1つ、河川流域が3つ、その他9つの合計13か所であることはわからない。今回の審議会に臨むにあたり、全体を見てきたがわかりづらい。目標指標は評価できるものの、構成として「第4章みどりの推進施策」の冒頭に基本方針IからVまでの目標指標が示されて、かつ現状値と目標値がしっかりと比べられて、その後からどの様な施策でやっていくのか、というものになっていけば見られるようになるのでは。色々な施策が出てきて、最終的に目標指標があるというのがわかりづらい。皆さんにとっても見づらいのではないかと。もう少し工夫した方がよい。</p>
<p>亀山会長</p>	<p>どうしたものか。きちんと数値が出ているので、どうしてこうなったのかが知りたくなる。そうすると、どの様な構成にすれば、ここにたどり着くのか。どうやって積み上げたのかを知りたい。この中でどうやったら順を追ってわかるようにできるのか。</p>
<p>荻野委員</p>	<p>確かに4-15ページで突然、数字が出てくる。それ以前の説明では数字は無く定性的に守る、残すということが書いてある。そこで例えば、水辺地の保全として5ヘクタールという数値が出てくるが、4-9ページのI-8において、計画なのでピンポイントの場所は書けないが、この辺りで合計5ヘクタールを残していきたいというくらいのさわりがあれば、最終的に4-15ページで表計算として合計値が示されていること、</p>

<p>亀山会長</p>	<p>まとめたことがわかる。突然、4-15 ページで出てくると、それが良いのか悪いのか、ということになる。</p> <p>そうですね、それぞれの所に書き込んでみますか。それでもう一度、仕上げ直す。入れ込んでわかりやすくしてもらおう。今、荻野委員が言われたように、それぞれの施策の中に書いてもらえれば流れがわかる。</p>
<p>児玉主任</p>	<p>今のご意見を確認すると、はじめに施策があり、その中に対応して目標値が示され、後に基本方針ごとにわかりやすく整理した目標値の表が掲載されているという流れになる。</p>
<p>木村委員</p>	<p>この表の中に入ってこなくて良いので、根拠の表がどこかにあるかどうか。</p>
<p>亀山会長</p>	<p>どちらでも良い。木村委員の言うように資料を後ろに載せてこのような積み上げをおこなった、ということでも良いし、荻野委員の言うようにそれぞれの所に、水辺が何ヘクタールあって積み上げるとこうなる、というような説明があっても良い。どちらでも良い。</p>
<p>児玉主任</p>	<p>検討させていただく。</p>
<p>三ツ木委員</p>	<p>目標値の立て方だが、目標は質と量がある。現行はみどりのイベントの開催回数でやっていた。ただ 100 人を集めるのに、10 人を 10 回やるのと、100 人を 1 回ということがある。努力の度合いが見えにくい。後でチェックできるようにするためには質と量为目标にあげることが考えられる。前回までは回数でやっているのだから、回数はいくらで人数は何人で、というようにしてはどうか。</p>
<p>水上委員</p>	<p>行政は予算と人手あってのことで、目標値が達成できないからといって簡単に回数を増やすことはできないのではないかと。回数はこれまでと変わらないが、一回の質を高めて努力をする、というように理解している。以前のように回数を目標にすると 5 回やったから良い、という話しになってしまう。回数は 5 回だが 200 人、400 人と定めれば、質を高めざるを得ないという経緯で目標を変えたのだと思う。</p>
<p>木村委員</p>	<p>イベントや講座に関して、ウォーキングイベントをやると一回に千人となる。行政が講座を企画してやるというのはとても難しいように思う。みどりのパートナー制度がある中で、市民団体にスキルなど伝えた</p>

	<p>い人を支援する形で講座をやるとか、そのような団体が無ければ、トトロのふるさと基金さんのようにスキルを持った団体があり、そこから講師を派遣できるという所がある。また、みどりのパートナーで花壇をやっている方の中には、どうやったらいいのか、綺麗になるのかわからない、ということや、活動を続けていくのに仲間とどの様にやればいいのかわからないということで、情報やスキルを求めている人たちがいる。みどりのパートナーが沢山いる中で、できる人とできない人とをマッチングさせるといったこと、仮にみどりのパートナーの中にその様な人がいないのであれば、そこに関してきちんと講座を組み立てていく、ということがこの中に入ってくれば良いのではないかと。行政が何かやらなければと言ってやっている講座は市民が求めるものでは無かったりする。今回、みどりのパートナーとやり取りすることが書いてあるので、そこから吸い上げて、その中でスキルのある方にやっていただくとなれば所沢市全体のボランティア活動が上手く回っていくのではないかと。</p>
<p>亀山会長</p>	<p>2点ほど話しが出た。1つは質と量の問題をどうするかということ。目標値に書くのは難しい。これはむしろ年次の報告の際にどのように実行したかを書いていってもらえば良い。6-4 ページに「点検・評価スケジュール」があるので、その際にやってもらえば良い。</p> <p>木村委員のお話しはやり方についてなので、もう少し書き込める所を書き込んでもらえば良い。</p>
<p>奥村課長</p>	<p>会長がおっしゃった形で検討させていただく。基本方針ごとの目標値のとりまとめをわかりやすくするために、目標値の説明、積み上げの理由については前の段の施策の各文章表現の下などにもう少し詳しい表などをそれぞれつけていって、これをとりまとめていくと最終的に4-15ページの表になるといったことがわかるような形で考えていく。</p> <p>ご指摘を受けた内容は、大きな変更となるため、会議の冒頭にスケジュールの話しをさせてもらったが、第5回がパブリックコメントの結果の確認となっているが、第4回と5回の間にもう一度、審議会を開催し内容をご確認いただく形に変更させていただきたい。スケジュールについて調整し、再度ご案内する。</p>
<p>亀山会長</p>	<p>しっかり書き込んでもらい、もう一度、ご意見を伺うことにする。</p>
<p>木村委員</p>	<p>4-46 ページの「(4) 子どもたちのみどりの取り組みの充実」で、市内小中学校でのみどりのカーテンの実施率を100%としているが、学校によって近くに雑木林があったり農地があったりと違いがあり、取り組</p>

	<p>みに特色が出てくるのではと思う。みどりのカーテンはこの 10 年くらいとても流行っている。育てにくさの違いなど、総合学習のやり方をきちんとできればすごく良い教材なのだが。これだけが目標となるのはどうか。</p>
<p>亀山会長</p>	<p>みどりのカーテンという種類も決まっているのか。アサガオやキュウリなど、色々できると面白いのだが。</p>
<p>木村委員</p>	<p>各学校で特色あるものに取り組む、とういことでも良いかと。</p>
<p>亀山会長</p>	<p>それではここに、特色あるみどりのカーテンとして、できるかどうか検討していただければと思う。</p>
<p>原口委員</p>	<p>4-14 ページに神社の記述があり、「小規模」という表現が 2 度も出てくるのだが、都市環境の緩和や防災のことを考慮すると、ここで「小規模」を強調することに問題がある。「小規模」という表現はあえて無くても良い。それから、4-15 ページの全体指標について、保全配慮地区の地域制緑地として絞りこんでいるのだが、②の公有地化した樹林地の数値もここに加えて良いのではないかと。</p>
<p>亀山会長</p>	<p>「小規模」については取れば良い。後の方についてはどうか。</p>
<p>児玉主任</p>	<p>ご指摘の点については検討したが、地域制緑地の指定区域と公有地が重なる部分があれば、重ならない部分もある。重なる部分は重複カウントとなってしまう。そこで目標の進捗を管理しやすくするために切り離れた方が良いと判断した。</p>
<p>亀山会長</p>	<p>承知した。</p>
<p>原口委員</p>	<p>同じように 4-23 ページの全体指標は①と②で「地区数」を指標としているが、⑤、⑥、⑦では「件数」が指標となっている。指標は 1 つでないといけないのか。</p>
<p>児玉主任</p>	<p>もう一度説明をお願いしたい。</p>
<p>原口委員</p>	<p>①、②と共に⑤、⑥、⑦のような指標も合わせたものとして見せた方が良いのではないかと。</p>

水上委員	あわせて聞くが、1)が「市街地の形成」となっており、3)が「住宅地などの民有地の緑化」となっている。なぜここで「地区数」と「件数」に分けたのか。
児玉主任	4-17 ページをご覧ください。中柱の「(1) 都市とみどりのバランスの確保」のタイトルだけを見ると、なぜ「地区数」が目標になっているのか見えづらいが、その下に続くⅡ-1の中身をご覧くださいと、これに関連させて目標の内容を決定していることがわかるかと思う。同様に4-20 ページでは「(1) みどりの住宅地の形成」の「Ⅱ-11 みどりの住宅地の形成」に関連させる形で取り組み目標が「件数」となっている。「地区数」、「件数」としてあえて分けたというよりも、取り組み施策が先にあり、それに関連させた形で目標が分かれたものとなっている。
水上委員	「地区」の中にさらに「件数」があるということか。同じ地区の中で「地区数」と「件数」に分けて書かれているように見えたのだが。
亀山会長	要は、1)の(1)は「地区」で考えていて、何地区をやったかということ。3)は住宅地なので、住宅でどれくらい取り組めたのかということ。
水上委員	そうすると、今、原口委員が指摘された部分についてはどうなるか。
亀山会長	ダブルカウントされても良いということになる。
児玉主任	補足させていただく。緑化重点地区計画というのは、第5章で緑化重点地区を定めており、ここについて条例で「緑化重点地区計画」を立てるとなっており、それに則って計画を立てるという目標になる。(2)の地域緑化の取り組み地区というのは、都市計画法に位置付けられる地区計画において、みどりに関する取り組みを定めてもらうというものになる。「地区」と「件数」は全く別の目標となる。
水上委員	わかりました。
城戸委員	現行のみどりの基本計画に対して目標指標の項目が減っているということは無いか。
児玉主任	減っていない。前は35項目で、今回は39項目掲げている。

城戸委員	減っているのであればその理由をと思ったのだが、承知した。
木村委員	とことこガーデンは現行の計画に載っていなかったのだが。都市計画課でやっていることを、同じみどりの枠で捉えられるということでこの中に入れたという理解で良いか。
児玉主任	その通りとなる。都市計画課と協議を重ねた結果となる。
木村委員	わかりました、すごく良いことだと思う。
荻野委員	目標値の設定について根っこの部分の質問となる。まず、2-1 ページでみどりの課題があるとしている。そこでは「市街地開発や道路沿道等における減少」が見られるということで、新たな取り組みが必要であるとし、4-11 ページで緑地保全制度を使って残していくとなっている。そこまでは確かにそうだと思う。課題に対する対応策として基本計画の構成上、良いのだと思う。ただ目標値が 45 ヘクタールと書かれており、これで間に合うのかどうか。課題への対応、ボリュームが適正なのかということがわかるように見せて欲しい。
亀山会長	目標というのはある基準で見るときちんとした数値が出てくるものもあれば、現況がこうなのでもっと頑張ろう、というようなものもある。全部が綺麗に説明できるものではないので難しい。都市公園の一人当たりの面積なども、このくらい頑張ろうと国交省が言っているものに、各市でうちはこれくらいまで頑張ろうと言っているもの。いずれにしてもどんな考え方でということが分かるようにしてもらえれば良い。
木村委員	4-29 ページに、「(2) 公園・緑地の活用の仕組みの検討」の「Ⅲ-15 市民参加による公園の活用の仕組みの構築」がある。こちらに「公園協議会の設置を検討」とある。前回は「公園協議会について地元から声があがった時にサポートします」という内容の話しをさせてもらった。そういった、公園協議会を設置することをサポートすることを広報するか、知らせていくような文言が欲しい。「検討する」だけだと、何をやるのかが見えない。もう少しプラスしてもらえないか。
水上委員	1-14 ページの市民生きもの調査について平成 29 年度の結果が記載されているが、植物、昆虫の種類がかなり少ないのではないか。
児玉主任	調査は継続中で、昨年度の基礎調査のとりまとめ時の暫定的な数字を

	<p>掲載したものとなる。来月末に調査期間が終了となるので、そこで取りまとめて掲載したい。当時と比べて報告数はかなり増えており、結果も変わってくるものと想定している。</p>
水上委員	<p>私が参加しておらず申し訳ないが、市内には早稲田大学の人間科学部などもあり、研究者が一人いるだけで報告数も増えると思われる。</p>
亀山会長	<p>報告数が少ないということもあるが、あくまで環境省のいきものログを使う、という方法の制約もあり、この様な結果となっている。上に載っている文献調査の結果をあわせて見れば沢山の種類がいることがわかる。</p>
水上委員	<p>承知した。</p>
亀山会長	<p>それでは最後の6-1ページの「計画の推進に向けて」について、1が「計画の推進体制」、2が「計画の進行管理」となっている。これについていかがか。</p>
城戸委員	<p>6-3ページのみどりの審議会の（6）について「調査をする」とあるが、審議会の実態にそぐわないのではないか。この「調査」というのは規約などでそうなっているのか。</p>
亀山会長	<p>確におかしい。審議会の規定にどう書いているかにもよるが、一般的に審議会は調査でなく審議するものだ。</p>
児玉主任	<p>審議会は「ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例」の中に設置が定められており、その中で「調査審議」の文言が出てくる。</p>
亀山会長	<p>「審議」という言葉を落としてしまったからで不自然で、「調査審議」と書いてもらえれば良い。</p>
水上委員	<p>青色の文字が新しく修正した部分で、黒色に横棒の記載はわざと残した部分となるのか。</p>
児玉主任	<p>その通りとなる。現行計画の部分について黒色の文字としている。</p>
亀山会長	<p>今回はこのような表現はなくして、全て黒色の文字として完成形をお願いします。</p>

長谷川委員	<p>6-1 ページの「(1) 市民の役割」の文中に「みどりの大切さに気づく」とあるが、環境教育ではまず「親しんで楽しんでもらってから大切さに気づく」という順番となるので、この文章の表現を「みどりを楽しみ大切さに気づく」といった表現に修正いただきたい。あと、ピラミッド型の図形からは上にいくほど人数が減っていく感じを受けるので、帯状が良いのかと思う。</p>
児玉主任	<p>間口を広く、多くの方にご参加いただきたいという意味を込めて末広りの形にしていたが、ご指摘の通り修正させていただく。</p>
亀山会長	<p>他にも思いつくこともあるかと思うので、9月7日金曜日までにまだ言われていない意見があれば事務局にご連絡ください。沢山の意見をいただいたので、次回に審議会をもう一度やる。そうするとパブリックコメントのスケジュールが狂ってくる。</p>
奥村課長	<p>今回は10月の中旬から下旬にかけてお願いします。</p>
亀山会長	<p>そうすると10月18日木曜日の午前でいかがか。問題は朝日航洋さんが仕事をこなさせるかどうかにかかる。それでは次回で完成させることにする。</p>
	<p>議題2 その他</p> <p>墓地計画地公有地化（新聞記事抜粋）を元に環境クリーン部 廣川部長より8月30日（木）に行われた定例記者会見の内容について説明をおこなった。主なやり取りは次の通りであった。</p>
廣川部長	<p>取得が具体的になれば、里山保全地域の追加指定などの際にお知らせさせていただくことになるかと思う。</p>
水上委員	<p>質問だが、ここは以前、視察に行った際に墓地になるというような説明を受けた場所になるのか。</p>
奥村課長	<p>その通りとなる。</p>
荻野委員	<p>先ほど部長さんからのお話しの通りで、新聞記事の文面では寄附と書いていないのだが、私たちとしても問題解決のために、まず特別寄附を求めており集まった寄附の全額をこの公有地化のための財源の一部にしてもらいたいということで、市に寄附をしたいと申し入れしている。</p>

亀山会長	関係者のみなさんのご努力でなんとかなりそうで、良かったと思います。
亀山会長	それでは審議を終了する。
	3 閉 会